

怒りの声・声・声

「廃止」の声広がる

全国各地で「即刻廃止しかない」の声が広がる「後期高齢者医療制度」。

4月15日時点で、565自治体から「中止」「見直し」「撤回」「廃止」を求める意見書が上がっており、川西市でも3月定例議会で請願が審査されました。共産党は採択に奮闘しましたが、残念ながら不採択になりました。

川西市議会では・・・

請願は市内老人クラブ提出の「後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書を国と広域連合にあげてほしい」という内容。

3月10日(月)の厚生経済常任委員会の請願審査で私(黒田)は、医療費抑制だけを目的にした今回の制度は、

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ <http://kurodamich.exblog.jp>



後期高齢者医療制度

廃止 しかない!

自治体の要請相次ぐが、川西市議会は、請願不採択に

しかし、他の委員は各様の理由で採択に反対(別表)。私(黒田)は、市内老人クラブからの請願であり、国では2月末に野党4党で「廃止」を求めていること、3分の1の地方自治体から意見書があり、500万を超える署名が提出されていることなどを重ねて訴えましたが、委員会では、「不採択」になりました。26日(水)の最終本会議でも、賛成討論で採択の呼びかけをしましたが、「採択」は、日本共産党の4人だけという結果になりました。



国としての責任を放棄し国民皆保険制度の解体を招くものと批判し、①保険料の年金天引き②医療差別と病院からの追い出し③保険証の取り上げ・医療給付の停止などの問題点を指摘。「こんなひどい制度は廃止しかない」ことを訴え、請願を採択し国と広域連合に意見書をあげるべきだと強く主張しました。

厚生経済委員会委員の発言・・・不採択
M議員(T議員(保守)は「国が動いているので」
Y議員(連合)は「4月目前。スタートしなければいけないので」
O議員(公明)は「中止・撤回は混乱を招く。社会保障制度が崩れる」
N議員(保守)は「問題があるかもわからないが、改正したら良い」
T議員(連合)は「制度は反対だが、混乱するから不採択」
☆黒田(共産)は「採択すべき。制度は問題だらけ、廃止しかない」

市民の怒り、とんとん!

街頭で訴え、署名に列...



「生活できようとしてまいと、今年秋には国保税も年金天引き。自民・公明は来年、住民税まで天引きにする予定です。平等の名で、むしり取るひどい政治を変えましょう」と呼びかけると、「年間問題も解決してないやないか」「今でも、生活苦しいのに」「国のために頑張ってきたやないか」などの声と共に、1時間で149筆の署名が集まりました。



「後期高齢者医療保険料」がはじめて年金天引きされた4月15日(火)。「中止・廃止」を求める宣伝・請願署名を行いました。「高齢者は死ね」ということか「なんで年寄りをいじめめるのか」「誰が決めたんや」怒りの声が次々に出され、署名に列が・・・

「廃止を求める署名に列が」

3月議会4つの請願への態度

- ・公民館有料化中止を求める請願・・・共産党は無料継続を求め奮闘、請願採択
- ・後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願
- ・妊産婦健康診査の公費負担拡充を求める請願
- ・教育予算を増額しゆきとどいた教育実現を求める請願

他会派は請願不採択、来年4月値上げ実施の修正案が可決

(共産党は全て、採択で奮闘)

- (連合市民クラブ
- 政雲会
- 公明党
- 智政会
- 自治市民クラブ
- 無所属M議員は不採択
- 後期高齢者で、
- 無所属Y議員は退席)

「まめのぼっこ」

自宅に、地域で「報告・宣伝」を聞いた方から「後期高齢者医療制度」についてのFAX。「国民すべて絶望の淵に立たされております」「諦観の日々であります、可愛い孫たちのことを思う時、心が痛むのです」「恐怖政治の始まりです」

切々と綴られ、「年寄りの生き血を吸う自民党」「小泉が蒔いた種で国亡ぶ」「如何せん役にたたぬが公明党」の句が添えてありました。おっしゃるとおりです。こんな悲しいことを言わせる国はおかしい、政治とはいえない。その声が燎原の火になってこの国を変えようとしています。FAXの末尾に「次は何を奪おうと考えているのか」の怒りと共産党への期待。そして、数日後に「廃止」を求める署名を届けてくださいました。いま、私にできることを精一杯しなければ・・・とあらためて思いました。

